

景 気 動 向 調 査

(第 181 回)

2016 年 4 月 ~ 6 月期実績

2016 年 7 月 ~ 9 月期予測

株式会社 北日本銀行

経 営 企 画 部

目 次

調査要領	1
概 況	2
1．県内景況感について	4
2．業況について		
(1) 売上高または出荷高	5
(2) 仕入高または生産高	6
(3) 在 庫	7
(4) 収 益	8
(5) 販売価格・仕入価格	9
3．設備投資の動向について		
(1) 設備投資の実施状況	10
(2) 設備投資の目的	11
4．資金繰り状況について		
(1) 資金繰り状況	12
(2) 現金・預金	13
(3) 金融機関借入	13
(4) 販売代金回収期間	14
(5) 仕入代金決済期間	14
5．経営上の問題点について	15

調 査 要 領

この報告は、岩手県内企業各社のご協力をもとに、下記の要領により景気動向の調査を行ったものです。

記

- 1．実施時期 2016年 6月下旬～7月上旬
- 2．調査対象期間 2016年 4月～ 6月期実績
 2016年 7月～ 9月期予測
- 3．調査の方法 郵送による無記名のアンケート方式（年間4回）
- 4．対象先 岩手県内企業 291社
- 5．回答数 162通（回答率 55.67 %）
 内訳 製造業 57社 建設業 37社 卸・小売業 68社
- 6．調査の主要項目 ・業況について
 ・設備投資の動向について
 ・資金繰りの状況について
 ・当面する経営上の問題点について

以 上

【本文用語説明】

「増加」～グラフ上の「増加」および「やや増加」

「減少」～グラフ上の「減少」および「やや減少」

DI（ディフュージョン・インデックス）～

「景気動向指数」のことで、各項目について「増加」（増加およびやや増加）と回答した企業の比率から「減少」（減少およびやや減少）と回答した企業の比率を減じた数値である。この値が「0」の場合は、「増加」と「減少」が等しいことを示し、プラスとなるほど「増加」が多く、マイナスになるほど「減少」が多いことを意味する。

（注）「上昇・低下」「楽になった・苦しくなった」「長くなった・短くなった」の回答についても同様に読み替える。

ただし、「販売代金回収期間」については、「短くなった」-「長くなった」で算出している。

概 況

2016年4～6月期の岩手県内企業の景況感D Iは、全体で 46.7 と前期（2016年1月～3月期） 35.9 と比較し、10.8ポイント低下した。

2016年7～9月期は、景況感は若干上昇するものの、個別項目を見ると、低下する項目が多い見通しとなっている。

D I（景気動向指数）推移

全業種ベース	4～6月期実績	7～9月期見通し
景況感	46.7	45.3
売上高・出荷高	16.0	23.4
収益	15.7	26.8
販売価格	0.0	5.7
仕入価格	7.6	7.5
資金繰り	4.4	8.7

・岩手県内企業「景況感D I」ワーストランキング

	調査回次	対象期間	景況感D I
1	第 153 回	09年1～3月	92.7
2	第 152 回	08年10～12月	91.3
3	第 124 回	01年10～12月	91.2
4	第 109 回	98年1～3月	90.6
5	第 111 回	98年7～9月	90.0

（1971（昭和46）年以降）

<岩手県の参考データ>

・有効求人倍率の推移

平成 28 年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.28	1.28										

平成 27 年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.20	1.23	1.21	1.27	1.27	1.21	1.22	1.22	1.20	1.23	1.24	1.25

・新設住宅着工戸数の推移

平成 28 年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
581	780										

平成 27 年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
742	725	887	726	852	663	664	773	680	654	558	498

1. 県内景況感について

全体のD Iは、46.7であった。

各業種別のD Iをみると、製造業が44.6、建設業が54.1、卸・小売業が44.1と、前回調査時と比べて景況感は、製造業と建設業は低下、卸・小売業はほぼ横ばいに推移した。

7～9月期見通しでは、製造業が46.4、建設業が59.5、卸・小売業は36.4と、製造業と建設業は低下、卸・小売業は上昇する予想となっている。

2. 業況について

(1) 売上高または出荷高

D Iは、全体では16.0であった。業種別では、製造業が24.4、建設業が10.8、卸・小売業が11.7である。

(2) 仕入高または生産高

製造業の生産高はD Iが28.0、卸・小売業の仕入高は18.2となった。

(3) 在庫

製造業の製品在庫D Iは24.5、卸・小売業の商品在庫は10.9となった。

(4) 収益

D Iは、全体では15.7であった。業種別では、製造業が19.2、建設業が21.6、卸・小売業が9.2である。

(5) 販売価格・仕入価格

販売価格は0.0、仕入価格は7.6であった。

3. 設備投資の動向について

全体で見ると、設備投資を「実施した」企業は25.0%となっている。業種別では、製造業が31.0%、建設業が13.9%、卸・小売業が26.2%である。

設備投資の目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」がトップとなり「生産・販売能力の増加」が2位、「省力化・合理化」が3位となった。

4. 資金繰り状況について

D Iは、全体では4.4であった。業種別では、製造業が3.5、建設業が10.8、卸・小売業が7.4である。

5. 経営上の問題点について

全業種合計では、「売上・受注不振」、「人手不足」、「収益不振」、「過当競争」が上位を占めている。

1. 県内景況感について

～ 実績は、製造業と建設業は低下、卸・小売業は横ばいに推移 ～

[4～6月期の実績] 県内の景況感（前年同期比）をみると、全業種では「良い」と答えた企業が4.3%（前期9.2%）、「悪い」が51.0%（同45.1%）で、DIは46.7（同35.9）と、前期に比べて10.8ポイント低下した。

業種別の景況感（DI）をみると、製造業が44.6（同29.2）、建設業が54.1（同29.4）、卸・小売業が44.1（同43.7）となっており、製造業と建設業は低下、卸・小売業はほぼ横ばいに推移した。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「良くなる」とみる企業が4.4%、「悪くなる」が49.7%であることから、DIは45.3となり、4～6月期実績と比較して、若干ながら上昇する見通しとなっている。

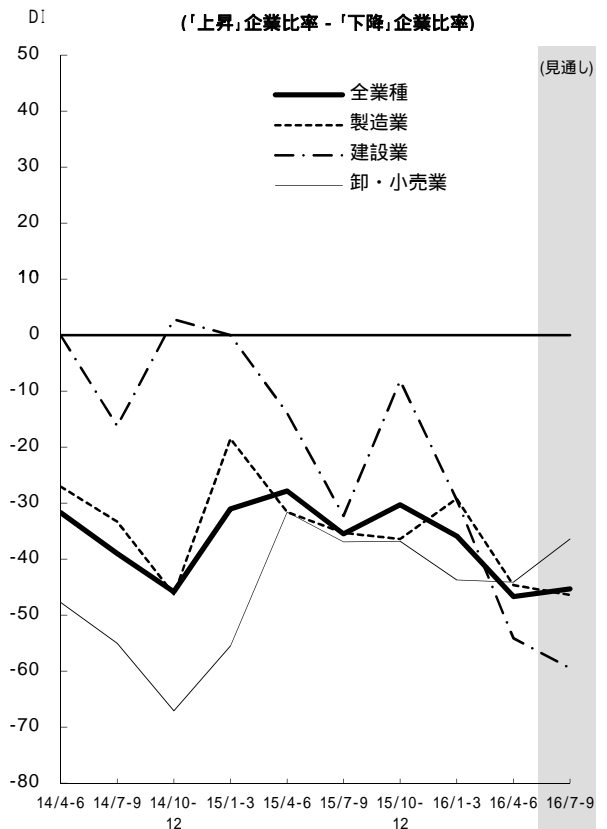
業種別にみると、製造業が46.4、建設業が59.5、卸・小売業が36.4となっており、製造業と建設業は低下、卸・小売業は上昇する見通しである。

県内景況感(前年同期比)

		(%)					DI
	期	良い	やや良	不変	やや悪	悪い	
全業種	4～6月(実績)	0.0	4.3	44.7	42.9	8.1	-46.7
	7～9月(見通し)	0.0	4.4	45.9	41.5	8.2	-45.3
(製造業)	4～6月(実績)	0.0	5.4	44.6	35.7	14.3	-44.6
	7～9月(見通し)	0.0	5.4	42.8	41.1	10.7	-46.4
(建設業)	4～6月(実績)	0.0	2.7	40.5	51.4	5.4	-54.1
	7～9月(見通し)	0.0	2.7	35.1	51.4	10.8	-59.5
(卸・小売業)	4～6月(実績)	0.0	4.4	47.1	44.1	4.4	-44.1
	7～9月(見通し)	0.0	4.5	54.6	36.4	4.5	-36.4

県内景況感(前年同期比)

(「上昇」企業比率 - 「下降」企業比率)



2. 業況について

(1) 売上高または出荷高

～実績・見通しとも、全業種が低下～

[4～6月期の実績] 売上高・出荷高実績(前年同期比)をみると、全業種では「増加」と答えた企業が27.8%(前期35.9%)、「減少」が43.8%(同33.9%)となり、DIは、16.0(同2.0)と18.0ポイント低下した。

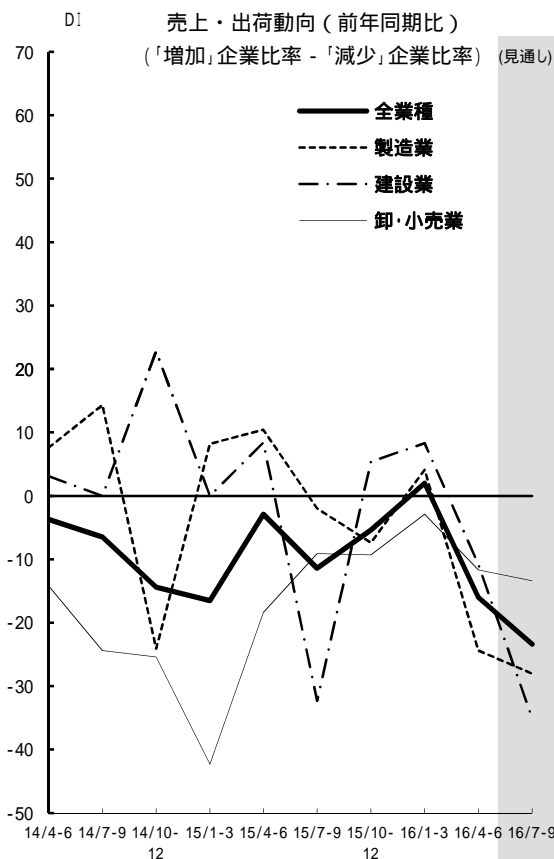
業種別にDIをみると、製造業 24.4(前期4.1)、建設業 10.8(同8.3)、卸・小売業は 11.7(同 2.9)となっており、全業種低下した。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し(前年同期比)をみると、全業種では「増加」とみる企業が17.3%、「減少」が40.7%であることから、DIは 23.4となり4～6月期実績と比較して、低下する見通しとなっている。

業種別にDIをみると、製造業で 28.0、建設業で 35.1、卸・小売業で 13.4なっており全業種で低下する見通しである。

売上高または出荷高(前年同期比)

		D I					
		(%)					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	D I
全業種	4～6月(実績)	1.9	25.9	28.4	32.1	11.7	-16.0
	7～9月(見通し)	2.5	14.8	42.0	32.1	8.6	-23.4
(製造業)	4～6月(実績)	1.8	21.1	29.8	29.8	17.5	-24.4
	7～9月(見通し)	3.5	12.3	40.4	29.8	14.0	-28.0
(建設業)	4～6月(実績)	2.7	21.6	40.6	21.6	13.5	-10.8
	7～9月(見通し)	0.0	13.5	37.9	35.1	13.5	-35.1
(卸・小売業)	4～6月(実績)	1.5	32.4	20.5	39.7	5.9	-11.7
	7～9月(見通し)	2.9	17.6	45.6	32.4	1.5	-13.4



(2) 仕入高または生産高

～ 実績は製造業、卸・小売業とも低下～

[4～6月期の実績] 仕入高・生産高実績（前年同期比）をみると、製造業（生産高）では「増加」と答えた企業が21.1%（前期30.6%）、「減少」が49.1%（同32.7%）でありDIは 28.0（同 2.1）と25.9ポイント低下した。

卸・小売業（仕入高）では「増加」と答えた企業は27.3%（前期33.8%）、「減少」が45.5%（同39.4%）で、DIは 18.2（同 5.6）と12.6ポイント低下した。

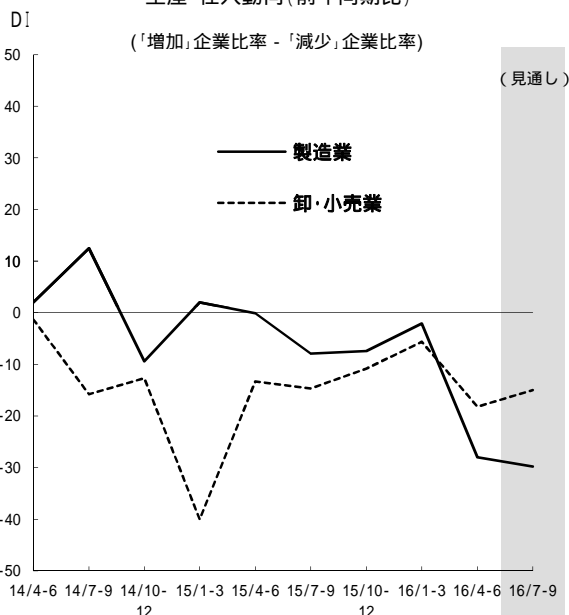
[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、製造業（生産高）については「増加」と答えた企業が14.0%、「減少」が43.8%であることから、DIは、29.8で、4～6月期実績と比較して、1.8ポイント低下する見通しとなっている。

卸・小売業（仕入高）については、「増加」と答えた企業が14.9%、「減少」が29.9%であることから、DIは 15.0で、4～6月期実績と比較して3.2ポイント上昇する見通しとなっている。

生産高または仕入高(前年同期比)

		（％）					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
（製造業）	4～6月 （実績）	1.8	19.3	29.8	38.6	10.5	-28.0
	7～9月 （見通し）	3.5	10.5	42.2	29.8	14.0	-29.8
（卸・小売業）	4～6月 （実績）	1.5	25.8	27.2	36.4	9.1	-18.2
	7～9月 （見通し）	1.5	13.4	55.2	28.4	1.5	-15.0

生産・仕入動向(前年同期比)



(3) 在庫

～ 製造業、卸・小売業とも在庫実績は減少、見通しは増加 ～

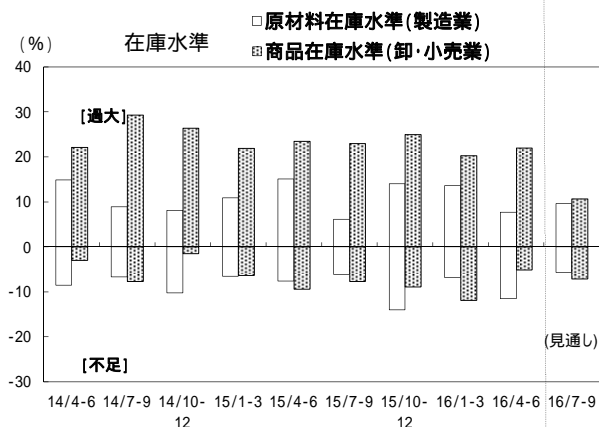
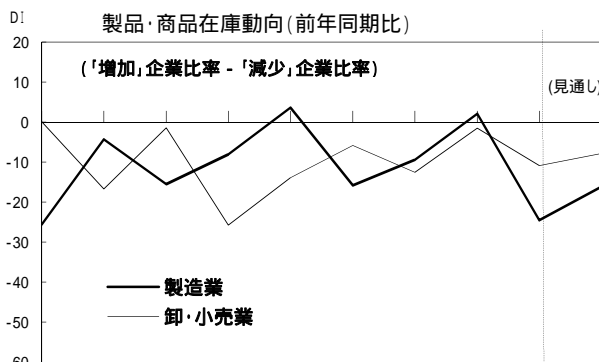
[4～6月期の実績] 在庫状況実績（前年同期比）をみると、製造業では、製品在庫が「増加」と答えた企業は14.1%（前期20.9%）、「減少」が38.6%（同18.8%）であることから、DIは 24.5（同2.1）となった。また、製品在庫水準については、「過大」が8.9%（同10.2%）、「適正」が80.4%（同79.6%）、「不足」が10.7%（同10.2%）である。卸・小売業の商品在庫は、「増加」と答えた企業が18.4%（前期19.4%）、「減少」は29.3%（同20.9%）であることから、DIは 10.9（同 1.5）となった。また、商品の在庫水準については「過大」が22.0%（同20.3%）、「適正」が72.9%（同67.8%）、「不足」が5.1%（同11.9%）である。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、製造業の製品在庫は、「増加」とみる企業が12.5%、「減少」が28.6%で、DIは 16.1となっている。また、同じく製品在庫水準については「過大」とみる企業が9.8%、「適正」が82.3%、「不足」が7.9%である。

卸・小売業の商品在庫については、「増加」とみる企業が9.4%、「減少」が17.2%であることから、DIは 7.8となっている。また、同じく商品の在庫水準については「過大」とみる企業が10.7%、「適正」が82.2%、「不足」が7.1%である。

製品・商品在庫(前年同期比)

		（％）					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
（製造業）	4～6月 （実績）	5.3	8.8	47.3	36.8	1.8	-24.5
	7～9月 （見通し）	5.4	7.1	58.9	23.2	5.4	-16.1
（卸・小売業）	4～6月 （実績）	1.5	16.9	52.3	26.2	3.1	-10.9
	7～9月 （見通し）	0.0	9.4	73.4	15.6	1.6	-7.8



(4) 収 益

～実績・見通しともに、全業種低下～

[4～6月期の実績] 収益動向実績（前年同期比）をみると、全業種では「増加」と答えた企業が28.3%（前期35.9%）、「減少」が44.0%（同33.3%）であり、DIは、15.7（同2.6）となり、18.3ポイント低下した。

業種別にDIをみると、製造業 19.2（前期12.2）、建設業 21.6（同 2.7）、卸・小売業 9.2（同 1.5）と、全業種で低下した。

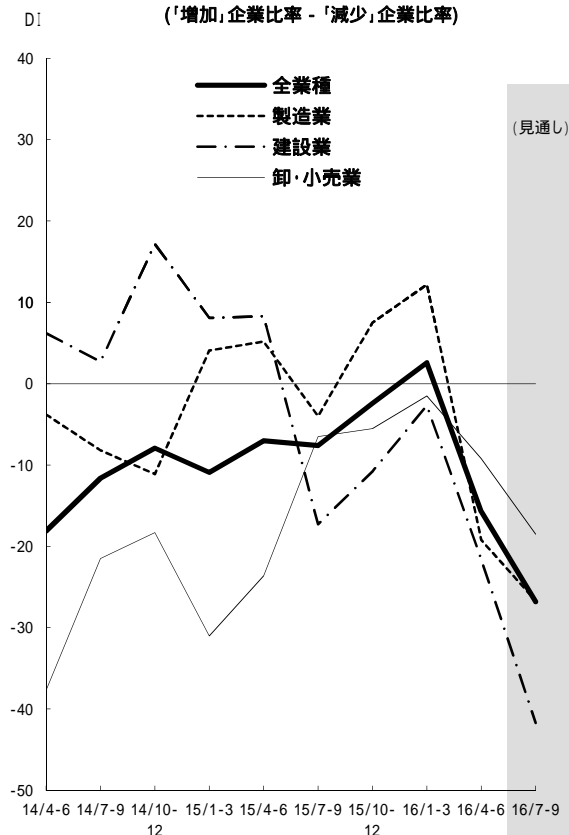
[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「増加」とみる企業が16.5%、「減少」とみる企業も43.3%であることから、DIは 26.8で、4～6月期実績と比較して低下する見通しである。

業種別にDIをみると、製造業 26.7、建設業 41.7、卸・小売業 18.5で、4～6月期実績と比較して、全業種低下見通しである。

収 益(前年同期比)

		（％）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	4～6月 (実績)	3.1	25.2	27.7	32.7	11.3	-15.7
	7～9月 (見通し)	2.5	14.0	40.2	35.0	8.3	-26.8
(製造業)	4～6月 (実績)	1.8	26.3	24.6	33.3	14.0	-19.2
	7～9月 (見通し)	3.6	17.9	30.3	37.5	10.7	-26.7
(建設業)	4～6月 (実績)	2.7	21.6	29.8	32.4	13.5	-21.6
	7～9月 (見通し)	0.0	8.3	41.7	36.1	13.9	-41.7
(卸・小売業)	4～6月 (実績)	4.6	26.2	29.2	32.3	7.7	-9.2
	7～9月 (見通し)	3.1	13.8	47.7	32.3	3.1	-18.5

収益動向(前年同期比)
(「増加」企業比率 - 「減少」企業比率)



(5) 販売価格・仕入価格

～実績は販売価格、仕入価格ともに低下～

[4～6月期の実績] 販売価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が12.7%（前期16.8%）、「低下」が12.7%（同12.2%）であることから、DIは0.0（同4.6）と低下した。

仕入価格（前年同期比）は、全業種では「上昇」と答えた企業が21.4%（前期25.1%）「低下」が13.8%（同11.0%）であることから、DIは7.6（同14.1）と低下した。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、販売価格については「上昇」とみる企業が8.1%、「低下」とみる企業が13.8%であることから、DIは-5.7と低下見通しとなっている。

仕入価格については、「上昇」とみる企業が20.0%、「低下」とみる企業が12.5%であることからDIは7.5と横ばいに推移する見通しとなっている。

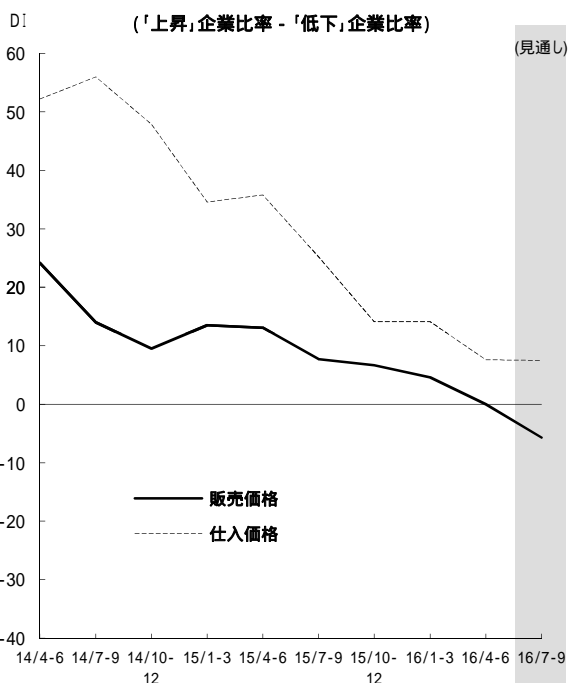
販売価格(前年同期比)

		(%)					DI
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	
全業種	4～6月 (実績)	0.0	12.7	74.6	10.8	1.9	0.0
	7～9月 (見通し)	0.0	8.1	78.1	11.9	1.9	-5.7

仕入価格(前年同期比)

		(%)					DI
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	
全業種	4～6月 (実績)	1.3	20.1	64.8	13.2	0.6	7.6
	7～9月 (見通し)	0.0	20.0	67.5	12.5	0.0	7.5

価格動向(前年同期比)



3.設備投資の動向について

(1) 設備投資の実施状況

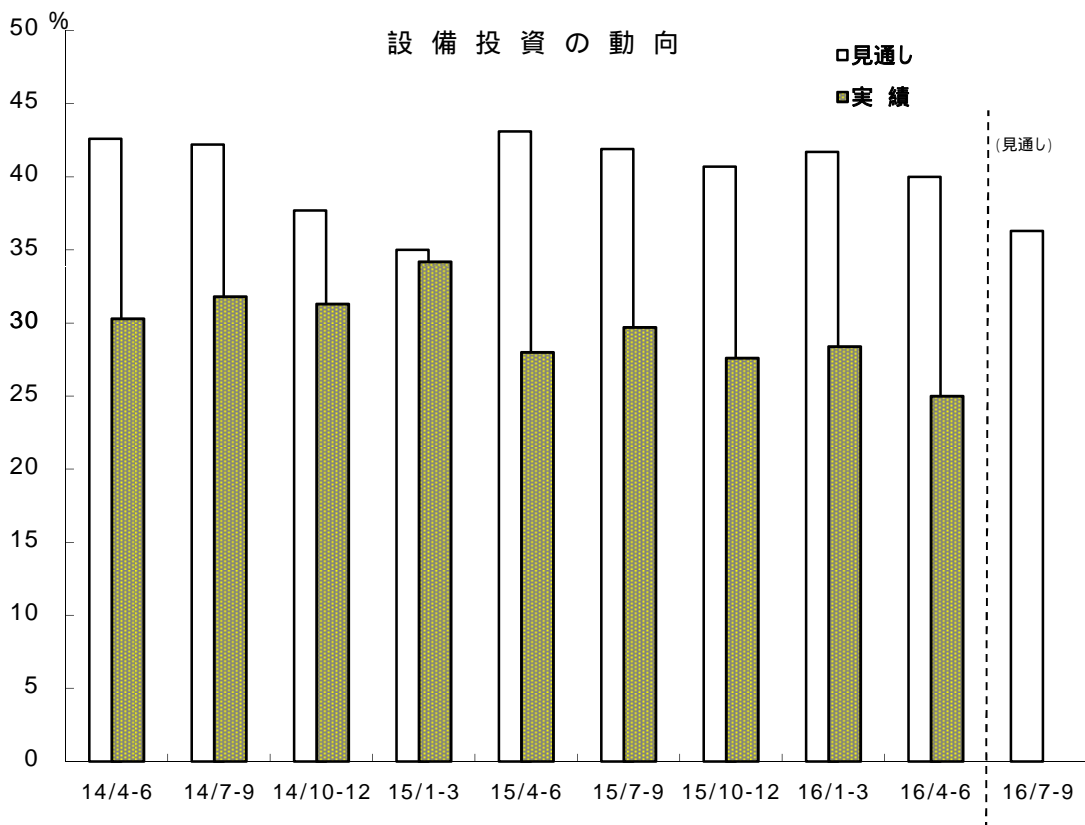
～ 実績は製造業と卸・小売業が減少、建設業は横ばいに推移 ～

[4～6月期の実績] 設備投資の実施状況をみると、全業種では「実施した」および「計画を縮小して実施した」と答えた企業は25.0%（前期28.4%）と前期比低下した。

これを業種別にみると、製造業31.0%（前期37.0%）、建設業13.9%（同13.9%）、卸・小売業26.2%（同30.4%）であり、製造業と卸・小売業は低下、建設業は横ばいに推移した。

[7～9月期の見通し] 今後3ヵ月の設備投資について、全業種では「具体的な計画がある」と答えた企業は全体で24.8%（前期24.7%）、「計画はあるが具体化していない」は11.5%（同15.3%）、「計画はない」は63.7%（同60.0%）であった。「計画あり」は合計36.3%となっている。

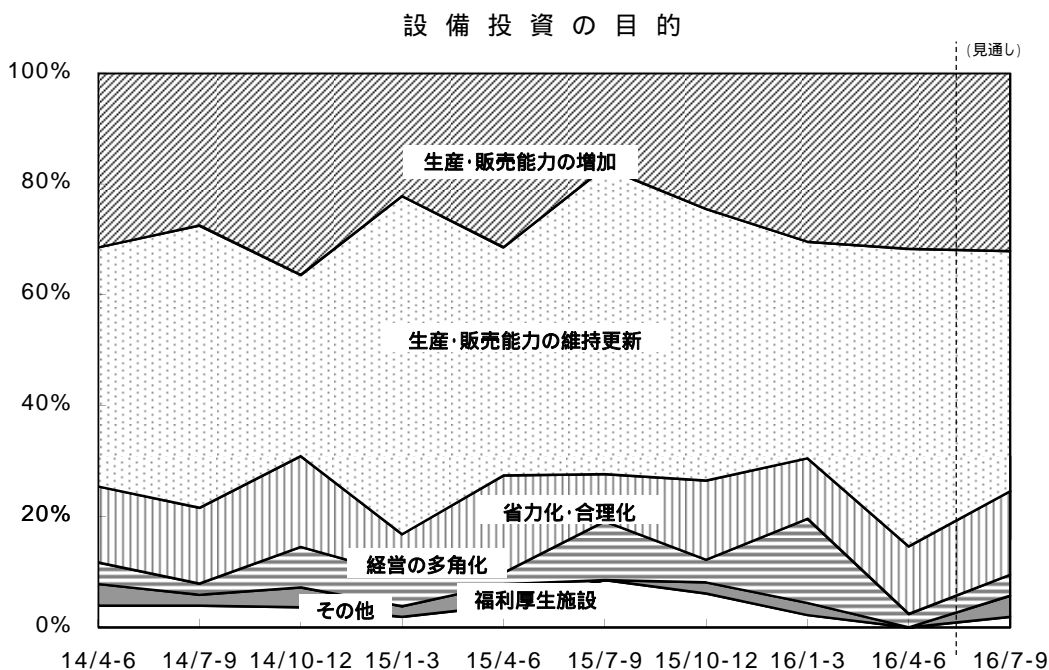
業種別にみると、「具体的な計画がある」および「計画はあるが具体化していない」と答えた企業は、製造業で55.4%（前期47.8%）、建設業で25.0%（同28.6%）、卸・小売業で26.2%（同40.6%）の見通しとなっている。



(2) 設備投資の目的

[4～6月期の実績] 今回の調査で「設備投資を実施した」と答えた企業(28.4%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が53.7%(前期39.1%)でトップとなり「生産・販売能力の増加」が31.7%(同30.4%)で2位となった。業種別で見ると、建設業と卸・小売業は「生産・販売能力の維持更新」がトップ、製造業は「生産・販売能力の維持更新」と「生産・販売能力の増加」がトップだった。

[7～9月期の見通し] 今後3カ月の設備投資について、「計画あり」と答えた企業(36.3%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が43.4%でトップとなり、以下、「生産・販売能力の増加」32.1%、「省力化・合理化」が15.1%で3位となっている。



4. 資金繰り状況について

(1) 資金繰り状況

～ 実績は建設業と卸・小売業が上昇、見通しは全業種で低下予想～

[4～6月期の実績] 資金繰り状況(前期比)は、全業種では、「楽になった」とする企業が23.5%(前期21.8%)、「苦しくなった」が19.1%(同19.2%)であることから、DIは4.4(同2.6)と上昇した。

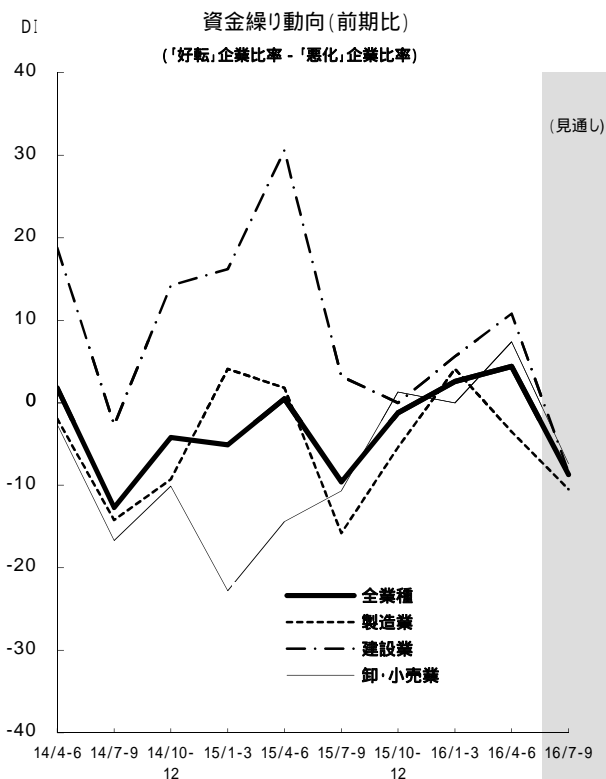
業種別にDIをみると、製造業が3.5(前期4.1)、建設業が10.8(同5.6)、卸・小売業は7.4(同0.0)と、建設業と卸・小売業は上昇、製造業は低下した。

[7～9月期の見通し] 7～9月期の見通し(当期比)をみると、全業種では「楽になる」とみる企業が13.0%、「苦しくなる」が21.7%で、DIは-8.7となり、4～6月期実績と比較して、低下する見通しとなっている。

業種別にDIをみると、製造業10.5、建設業8.4、卸・小売業7.4となっており、全業種で低下する見通しとなっている。

資金繰り(前期比)

		(%)					DI
	期	楽	やや楽	不変	やや苦	苦	
全業種	4～6月 (実績)	2.5	21.0	57.4	14.8	4.3	4.4
	7～9月 (見通し)	3.1	9.9	65.3	18.0	3.7	-8.7
(製造業)	4～6月 (実績)	3.5	19.3	50.9	14.0	12.3	-3.5
	7～9月 (見通し)	3.5	8.8	64.9	15.8	7.0	-10.5
(建設業)	4～6月 (実績)	2.7	18.9	67.6	10.8	0.0	10.8
	7～9月 (見通し)	2.8	8.3	69.4	16.7	2.8	-8.4
(卸・小売業)	4～6月 (実績)	1.5	23.5	57.4	17.6	0.0	7.4
	7～9月 (見通し)	2.9	11.8	63.2	20.6	1.5	-7.4



(2) 現金・預金

[4～6月期の実績] 現金・預金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が25.4%（前期22.4%）、「減少した」が29.2%（前期30.1%）であることからDIは 3.8（同 7.7）と上昇した。

[7～9月期の見通し] 7～9月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が11.9%、「減少する」が28.8%であることから、DIは 16.9と低下する見通しとなっている。

(3) 金融機関借入

[4～6月期の実績] 金融機関借入金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が12.6%（前期12.9%）、「減少した」が43.0%（同35.7%）であることからDIは 30.4（同 22.8）と低下した。

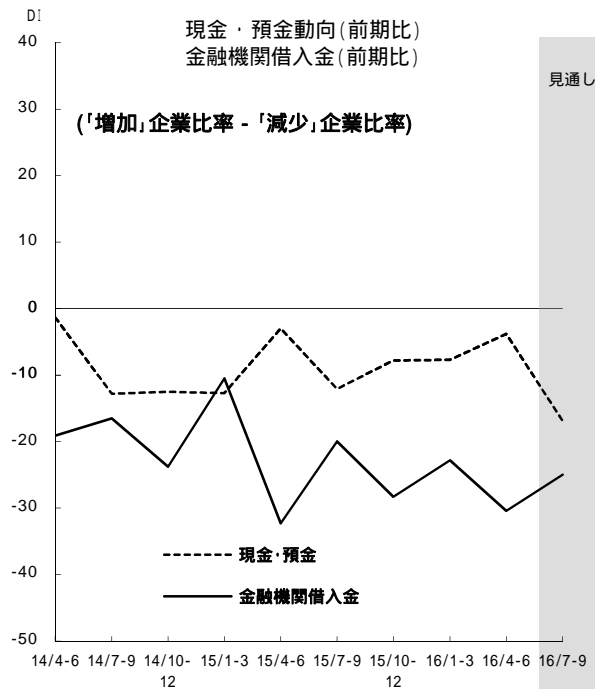
[7～9月期の見通し] 7～9月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が12.8%、「減少する」が37.8%であることから、DIは 25.0と上昇する見通しとなっている。

現金・預金(前期比)

		（％）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	4～6月 (実績)	3.7	21.7	45.4	23.6	5.6	-3.8
	7～9月 (見通し)	2.5	9.4	59.3	22.5	6.3	-16.9

金融機関借入金(前期比)

		（％）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	4～6月 (実績)	2.5	10.1	44.4	35.4	7.6	-30.4
	7～9月 (見通し)	1.9	10.9	49.4	31.4	6.4	-25.0



(4) 販売代金回収期間

[4~6月期の実績] 販売代金回収期間(前期比)については、「短くなった」とする企業が4.4%(前期5.8%)、「長くなった」が6.9%(同4.4%)であることから、DIは2.5(同1.4)となった。また88.7%(同89.8%)の企業は「変わらない」としている。

[7~9月期の見通し] 7~9月期の見通し(当期比)をみると、「短くなる」とみる企業が1.2%、「長くなる」が5.6%であることから、DIは4.4となる。また、93.2%の企業は「変わらない」とみている。

(5) 仕入代金決済期間

[4~6月期の実績] 仕入代金決済期間(前期比)については「長くなった」とする企業が1.2%(前期1.9%)、「短くなった」が3.7%(同1.3%)であることから、DIは2.5(前期0.6)となった。また、95.1%(前期96.8%)の企業は「変わらない」としている。

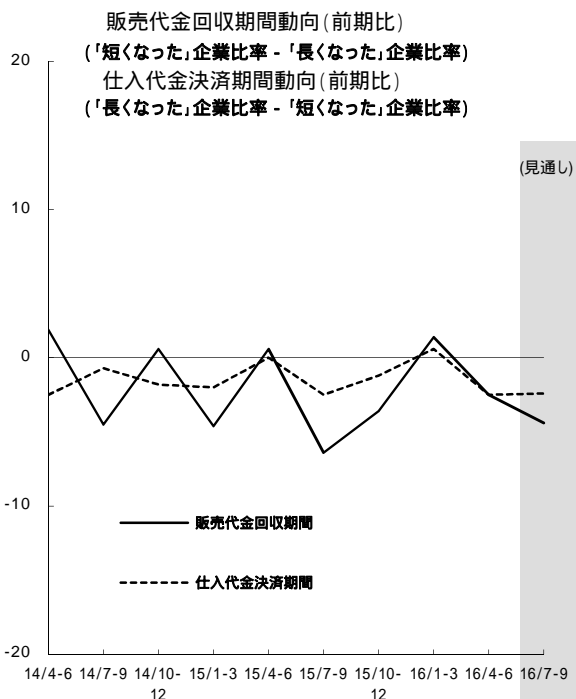
[7~9月期の見通し] 7~9月期の見通し(当期比)をみると、「長くなる」とみる企業が0.0%、「短くなる」が2.4%であることから、DIは2.4となる。また、97.6%の企業は「変わらない」とみている。

販売代金回収期間(前期比)

		(%)					DI
	期	短く	やや短	不変	やや長	長く	
全業種	4~6月 (実績)	1.3	3.1	88.7	6.9	0.0	-2.5
	7~9月 (見通し)	0.6	0.6	93.2	5.0	0.6	-4.4

仕入代金決済期間(前期比)

		(%)					DI
	期	長く	やや長	不変	やや短	短く	
全業種	4~6月 (実績)	0.0	1.2	95.1	3.1	0.6	-2.5
	7~9月 (見通し)	0.0	0.0	97.6	1.2	1.2	-2.4



5. 経営上の問題点について

～ 経営上の問題は全業種「売上・受注不振」と「人手不足」～

4～6月期における経営上の問題点をみると、全業種では「売上・受注不振」25.2%（前期21.8%）、「人手不足」17.6%（前期18.2%）、「収益不振」10.7%（同13.2%）、「過当競争」10.7%（前回10.0%）となっている。

業種別に上位3項目をみると、製造業では「売上・受注不振」が24.5%で1位、「人手不足」が16.0%で2位、「自己資本不足」が10.4%と3位となった。

建設業では「売上・受注不振」が30.2%で1位となり、「人手不足」が23.8%で2位、「過当競争」が17.5%で3位となった。

卸・小売業では「売上・受注不振」が22.9%で1位、「人手不足」が15.3%で2位、「収益不振」が13.6%で3位となっている

経営上の問題点

(2項目以内複数回答可)

